

## 全ト協 ロボット点呼 助成が始まります

全日本トラック協会において中小トラック運送事業者における輸送の安全確保の根幹を成す運行管理について、安全性の向上、労働環境の改善、人手不足の解消等に資するため、自動点呼にかかる支援機器及びシステム等の普及促進を図ることを目的として、当該機器の取得費用の一部を助成することとなりました。つきましては三重県トラック協会にて受付を開始いたしますので是非ご活用ください。

対象者	中小企業者 資本金の額または出資の総額が3億円以下の会社 または 常時使用する従業員の数が300人以下の会社及び個人
助成名	<b>点呼支援機器導入促進助成</b>
対象期間	令和3年4月1日～令和4年2月28日までに補助対象機器のサービス利用を開始したもの
助成額	対象となる機器等の <b>導入費用</b> (契約期間中のサービス利用含む) <b>上限10万円</b> <b>導入費用とは</b> 機器本体・システム・部品・付属品・セットアップ費用など <b>消費税は対象外です</b> 1事業者1台まで
対象機器	ナブアシスト社が開発した「ロボット点呼」(通称「ユニボ」)及びその周辺機器
申請期間	令和3年11月12日～令和4年2月28日(必着)
必要書類	①申請書 ホームページよりダウンロードしてください ②領収証(写) ③サービス利用申込書(写) ④管理NOが記載された書類(写) ただし、③に記載されている場合は不要
備考	・ナブアシスト社の他、日貨協連及び販売取扱店等でも導入できます ・三重県トラック協会の助成については来年度以降検討予定です

### ご注意ください(点呼支援機器導入について)

**Q1: 助成対象となる点呼支援機器を使用すれば、運行管理者不在でも点呼として認められるのか。**

**A1: 現在は、認められていません。**

国土交通省において機器の実証実験が行われているところであり、点呼における確認項目等が代替可能か検討されています。まずは、乗務後点呼について検証が行われており、その後、乗務前点呼についても検証が行われる予定です。

なお、現在の導入メリットは、運行管理者による対面点呼直前に点呼支援機器(ユニボ)を使用して、本人確認(AI顔認証)、免許証データ確認、体温データ計測取込、血圧データ計測取込、アルコール検知データ計測取込等を行うことができます。(周辺機器の接続が必要)

**Q2: IT点呼とは違うのか**

A2: 「IT点呼」とは、映像・音声を「IT点呼認定機器」を介して遠隔で点呼を行うことです。一方、「点呼支援機器」を使用して行う点呼とは、(将来的に認められれば)点呼における確認、指示項目の一部または全てを当該機器に代替させて点呼を行うことです。

## 点呼支援機器等導入促進助成事業 助成申請書

(一社)三重県トラック協会会長 殿

※ 下記の同意内容を確認の上、□欄にチェック(☑)をご記入ください。(チェックがないと受付不可)

本助成事業の申請にあたり、国及び地方自治体が発行する助成制度等の申請・受領はしていません。

申請年月日	20      年      月      日							
事業者名	印							
支店名・営業所名								
会社所在地	〒      ー							
電話・FAX番号	電話	(      )	FAX	(      )				
申請責任者	役職		氏名					
点呼支援機器等	機器名	ロボット点呼(ユニボ)						
	管理NO(※)							
	サービス利用日	20      年      月      日						
取扱店								
導入費用	円							
助成金申請額	円							
振込先 金融機関	金融機関名	銀行						支店
	ふりがな 口座名義							
	口座番号	普通・当座						
添付書類	1. 取扱店に支払った導入費用の領収証の写し 2. サービス利用申込書の写し 3. 管理NOが記載された書類の写し (2. に記載されている場合は、不要)							

※サービス利用申込書に記載された管理NOを記載すること。